

埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名：舗装工（路盤）	

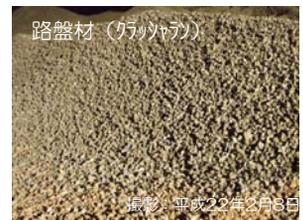
平成22年2月8日より、舗装工（埋立部、路盤工事）の施工に着手しました。舗装工事も今までと同様に24時間休まず施工を実施し、路盤工事（下層路盤・上層路盤）、アスファルト舗装（基層・表層）の順に施工を進めていきます。今回の現場日記では、8日より着手した路盤工事について紹介します。



①船で運搬してきた路盤材を揚陸している状況。使用している岸壁は、空港外周護岸の一部である、ケツ式護岸。



②揚陸した路盤材をダンプトラックに積み込んでいる状況。積み込み後、施工箇所へ運搬します。



路盤材：クワツァーラ、粒度調整碎石、アスファルト安定処理を使用。  
(写真は、クワツァーラ)



④敷き均しを行った後、タイヤローにて1次転圧を行います。1次転圧では、路盤材が十分に締め固まるよう転圧を繰り返します。



③ダンプトラックにて運搬してきた路盤材をブルドーザやモーターグレーダにて所定の厚さに敷き均しを行います。(写真は、ブルドーザ)



⑤タイヤローにて締め固め後、マカドローにて二次転圧を行います。二次転圧では、表面の不陸整平等（仕上転圧）を行います。

・右図は、滑走路の舗装構成。  
(地表面から、アスファルト舗装→路盤→路床で大きく3構成となっています)  
※滑走路・誘導路では、航空機荷重を大きく受ける中央部分が最も厚くなっています。(路床からアスファルト舗装まで約3.4m程あります)

